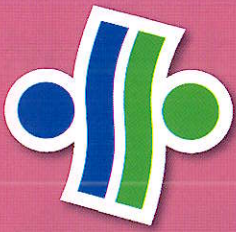


ご自由にお持ち帰りください



社会医療法人 康和会
広報誌

No.
79

地域の皆様の健康と長寿を願って

しらかばの風

SHIRAKABA no KAZE



介護事業所開設 10 周年

理事長 挨拶

住み慣れた土地で安心して高齢期の生活を送るために、そして継続した医療を提供するために、生活の基盤となる住まいの確保が必要と私たちは考え、サービス付き高齢者向け住宅とそこに併設する東月寒総合在宅ケアセンターを平成 26 年 8 月 1 日に開設いたしました。今年 8 月 1 日で 10 周年を迎えることが出来ました。これはひとえに、ご入居者様、ご利用者様、そのご家族様をはじめ地域の皆様方のご協力とご支援のおかげと心から御礼申し上げます。我が国の高齢化率は 29.1% で、国際比較統計で言うとモナコ公国に次ぐ世界第 2 位との事です。康和会は、今後ますます進む超高齢化社会のなかで、地域に密着した医療・介護・福祉サービスを提供していけるよう努力してまいり所存でございますので、引き続きご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

社会医療法人康和会 理事長 加藤 康夫

介護事業所開設10周年 特別対談

インタビュー：林統括部長



稲葉
介護事業所
事業所長



日下
介護事業所
部長



石川
介護事業所
副部長



森本
介護事業所
部長



京屋
法人事務局
事務局長

林 2024年8月1日で、しらかばの杜は開設10周年を迎えました。10年間の振り返りをお願いします。

稲葉 病院の在宅事業部を分離独立し、介護事業所として開設10周年を迎える事が出来ました。地域の皆様と職員のおかげと感謝申し上げます。開設当時、私は病院の看護部長として新事業所に異動する職員を選抜する立場にあり、身を切る想いで職員を送り出した事を覚えています。もちろん、新たな職場でリーダーとして輝く事を期待しての事でした。

京屋 介護事業所開設のきっかけは、「国の医療費適正化政策」だったと思います。病院で長期入院が難しくなり、我々の基本方針である「外来から入院まで一貫した医療提供」が困難になった事から、病院直結の介護事業所新設により、切れ目のない医療・介護を提供しようと考えました。多くのハードルがありましたが、サ高住と併設する総合在宅ケアセンターや保育園への反響は大きく、沢山のメディアから取材を頂きました。10周年を迎えられたのは、関係する皆様のご理解とご協力のおかげです。

林 部長、副部長の皆さまから開設当時の苦労話をお聞きます。

森本 私は、事業所立ち上げから関わりました。100室を満室にする使命を帯び、プレッシャーも感じていました。200組近い見学対応を行って、同時に札幌しらかば台病院遠藤院長（当時）にラジオ出演もして頂き、あらゆる手立てを講じました。3ヶ月土日無く必死に頑張って、目標の満室での開業を迎えられホッとした事を思い出します。

石川 開設当初は、介護事業所全職員が迷いながらも力をあわせてやってきました。ブラックアウトやコロナ禍など多くの問題もありましたが、介護・医療サービスを継続提供できたことに今は安堵しています。

日下 私は、開設時には札幌しらかば台南病院に勤務していました。南病院はとて古く、新事業所は綺麗に見えて、うらやましいなと感じていました。南病院から介護事業所へ異動する職員もあり、つらい気持ちもありましたが、新しい職場で活躍することを祈って送り出しました。

林 稲葉所長より新しい10年のビジョン等を伺います。

稲葉 今よりもなお、職員に明るく元気で働ける環境を作る事が重要だと考えています。職員の元気さや明るさが、利用者様の笑顔に変わるはずで。職員を大事にする現場を作っていく事が私たちの務めだと考えています。

林 稲葉所長のビジョンを達成するための決意を夫々いただきます。

森本 介護事業は離職率が高い業界と言われてます。一方、介護事業への期待は高く、現場はマンパワーで賄われています。より良い介護・医療を提供し続けるためには職員の確保が必要であり、その為には職員満足度を高める必要があります。今後10年、職員が満足し笑顔で働ける環境作りに力を入れて行きます。

日下 稲葉所長がよく仰る「めいっぱい仕事して、めいっぱいプライベートは楽しんでもらう」ことの実現のために、私たち管理職は、これから何が必要なのかを、様々な観点から検討していく必要があると考えています。

石川 職員の満足度が得られる職場を目指したいと思います。入居者様や利用者様が快適に過ごせる環境を作っていくことが職員の満足度を高める事にもつながると考えています。

林 最後に京屋局長から新しい10年について伺います。

京屋 康和会はかつて5事業所を展開していました。経営資源を集中させるために病院統合等により、今は3事業所に統合して法人全体の最適化を図ってきました。地域や職員の満足度を一層高める為には、「一人の百歩ではなくて、百人の一步」が必要だと思っています。法人全体で協力しあえば、稲葉所長が仰る新しい10年のビジョンが達成できると思っています。

林 本日は座談会にご出席いただきありがとうございました。



サービス付き高齢者向け住宅

しらかばの杜

天然温泉
もりの湯
大浴場完備



2024年8月1日を以てしらかばの杜は開設10周年を迎えることが出来ました。思い起こせば2018年9月6日の午前3時8分に発生した北海道胆振東部地震とその直後に起きた日本初のブラックアウトや、2020年から続いたコロナ禍を経験するなど決して平坦な10年間では無かったと思います。しらかばの杜は、入居者の皆さまが毎日安心して暮らすことができる場所です。介護を提供する東月寒総合在宅ケアセンターが併設され、医療を提供する札幌しらかば台病院は徒歩3分の場所に位置し、地域の皆様のご理解とご協力をいただいて、入居される皆さまの暮らしを全力でサポートしてまいりました。引き続き、いつでもそばに、医療と介護、そして温泉、24時間サポートのある安心な暮らしをモットーに、スタッフ一同頑張っておりますので変わらぬご支援をお願い申し上げます。

東月寒総合在宅ケアセンター



複合型居宅介護しらかば

私たちの事業所は、居宅介護に医療面での対応も可能な事業所です。要介護1～5の認定を受けている札幌市居住の方であればどなたでもご利用いただけます。ご利用者様お一人ひとりに適したケア手順を作成しており、どのスタッフが対応しても同じサービスを提供できるように徹底して参りました。ご利用者様からは「家族的」「安心する」「ここに来て良かった」などの嬉しいお言葉をいただいております。今後も、ご利用者様の小さな変化も見逃さず、何事にも早期対応を心掛け、一日でも長く在宅生活を継続して頂けるように、また多くの方に「複合を利用して良かった」と言って頂けるように、スタッフ一丸となって取り組んで参ります。

24時間訪問介護看護しらかば

当事業所の特徴は、訪問介護だけの利用や訪問看護込みの利用など、ご利用者様の状態に応じたサービスを提供することが出来ることです。夜間帯も看護職員と介護職員が当直勤務していますので、24時間を通して、ご利用者様のニーズに合わせた定期的な訪問とコールを受けて随時対応をさせて頂いています。また、定期的にモニタリング・アセスメントを行い日々の関わりからご利用者様のニーズを把握し、担当者会議を開催することで、より個別的なサービスを提供していけるように努めていきます。

訪問看護ステーションしらかば

訪問看護はあらゆる年齢の方を対象に、お住いに訪問して健康管理、リハビリテーション、医療処置、介護方法の提案などを行っています。健康保険証か介護保険証を使用する有料のサービスですが、公費負担や医療助成の制度も利用できます。かかりつけの医師からの指示書が必要ですが、通院でも訪問診療でもどこの医療機関の医師でも構いません。看護師と理学療法士が在籍しており「いつまでも歩ける体づくり」を共同で目指しています。

デイサービスセンターしらかば

デイサービスでは介護認定を受けた方が日帰りで介護や機能訓練などの介護サービスを受けることができます。ご利用者様のニーズは「銭湯や温泉に行くのが大変になってきた」「自宅に迎えに来てもらって機能訓練を受けたい」「同年代の人と話をする機会を持ちたい」「家族が仕事に行くので、高齢者を一人で家に残すのが心配」「家族も気分転換の時間が欲しい」など様々ですが、天然温泉の入浴や排泄訓練のほか、食事、各種レクリエーションなど、ご利用者様が楽しく過ごせるような工夫を行っております。ご見学や利用体験も随時受付けておりますので、お待ちしております。



※イラストはイメージです

ヘルパーステーションしらかば

ご自宅での生活で不安を感じているご高齢の方のご自宅にお伺いし、生活全般にわたってお手伝いさせて頂いています。介護保険で要支援1~2の方、要介護1~5の介護認定を受けている方が対象です。ヘルパーは介護保険で定期的な訪問を行い、支援をしながらご本人の日常生活のお話を伺ったり不安に思う事をお聞きしたりしています。電話ではうまく聞き取れないお話も直接会話する事で「安心する、気持ちが和らぐ」と言うお声を頂いています。介護保険では対応できないサービスとして、お一人では不安に思う病院受診や買物外出等も対応していますので、お気軽にご相談ください。

ケアプランセンターしらかば

当事業所には4名の介護支援専門員が在籍しており、要介護1~5の認定を受けたご利用者様を担当しています。自宅で生活する上で困っていることや不安なことなどを解消するため①介護保険で利用できるサービスの説明や紹介②サービスを利用するために必要なケアプランの作成③毎月の訪問でご本人様、ご家族様の生活等の状況確認④利用しているサービス事業所との連絡調整などの業務を行っております。介護保険や利用できるサービスは多岐にわたっていますので、どこに相談したらよいか迷われることも多いと思います。担当する介護支援専門員がご自宅に伺って介護保険制度の概要やサービス利用までの流れなどをご説明することもできますので、ぜひお気軽にご相談ください。



札幌市豊平区介護予防センター 東月寒・福住

介護予防センターは、高齢者の方々が住み慣れた地域でいつまでも暮らせるように、介護予防教室を開催、または地域の介護予防活動の支援などを行なう介護予防の拠点です。また、地域の高齢者の身近な相談窓口の機能を担い、地域包括支援センターの役割を補完する機関でもあります。しらかばの社の中に事務所があり、介護福祉士2名で総合相談支援や介護予防啓発業務などを行っています。「介護予防について誰に聞いたら良いの?」など迷われる事もあると思います。お一人で悩む事なくお気軽にご相談ください。

ふれあい夏まつりに参加しました (介護事業所)

令和6年8月24日(土)に、東月寒地区町内会連合会主催の「第35回ふれあい夏まつり」が、しらかばの社に隣接する「とんつき憩いの広場」で行われました。会場は夏休み最後の土曜日を楽しむ小・中学生のほか多くの方々が賑わい、ビンゴゲーム大会や南京玉すだれの実演もあり、大人も子供も楽しく過ごされておりました。夏祭り開催中に体調不良者が出た場合に備えて、しらかばの社の看護師が会場で待機していましたが、活躍する場面が無かった事は本当に良かったと思います。地域の皆様の相互扶助、親睦や郷土愛の醸成に繋がる「ふれあい夏まつり」が今年も開催できたことに幸せを感じる一日となりました。



※イラストはイメージです

基本理念

心のこもった医療
学ぶ心
社会への貢献

基本方針

- 患者さま一人一人の権利を尊重し、最善の医療を展開します。
- 急性期から慢性期、外来・在宅から入院までの一貫した医療を実践します。
- 各医療施設や地域の方々と連携した医療を進めます。
- 広く社会貢献に取り組みます。
- 最新の知識の習得と臨床研究・発表を続けます。
- 健全な経営に努めます。

